

(クリスマス)

# しゅくふく よろこびと祝福のみ子、イエスさま

1. 【あんしょうせいぐ】かいて、おぼえよう。(ルカ 1:46,47)

2. イエスさまの家族・親戚をしらべて、( )になまえを書いてね。

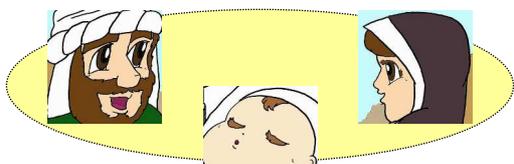
( ) ( ) ( ) ( )

おとうさん

おかあさん

おとうさん

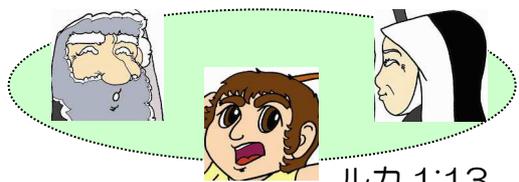
おかあさん



ルカ 1:27,31

イエスさま

しんせき  
.....  
ルカ 1:36



ルカ 1:13

( ) こども

3. このことばを言ったのはだれでしょう? ことばと言った人(天使)を線でむすんでね。

① わが霊は、わが救い主なる神を喜びたたえます。  
ルカ 1:47

② 私の主の母が私のところに来られるとは、何とということでしょう。  
ルカ 1:43

③ おめでとう、恵まれた方。主があなたとともにおられます。  
ルカ 1:28

- マリヤ
- エリサベツ
- 天使 (御使い)

4. マリヤはエリサベツにあいさつをしました。そのあと、どんなことがおきたでしょう。

正しいものに○を、まちがっているものに×をつけてね。(ルカ 1:39-45)

- ( ) エリサベツが聖霊にみたされた。
- ( ) マリヤのお腹の赤ちゃんがおどった
- ( ) エリサベツのお腹の赤ちゃんがおどった
- ( ) マリヤがエリサベツにプレゼントをあげた



5. クリスマスとはいったい何ですか? クリスマスの主役はだれでしょう?

(クリスマス)

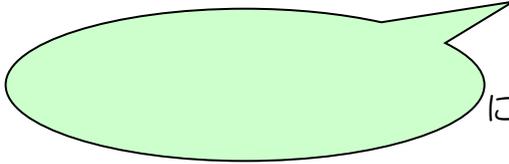
# つみ すく 罪からの救いぬし、イエスさま

1. 【あんしょうせいく】かいて、おぼえよう。(マタイ 1:21)

2. マリヤの<sup>あか</sup>赤ちゃんは、<sup>なに</sup>何によって<sup>やど</sup>宿ったのでしょうか？ <sup>ひだり</sup>左の文字を<sup>もし</sup>ならびかえて、<sup>みぎ</sup>右に  
<sup>ただ</sup>正しいことばを<sup>か</sup>書いてね。(マタイ1:20)

『その<sup>たい</sup>胎に<sup>やど</sup>宿っているものは

いいせれ →



によるのです。』

3. <sup>せいしょ</sup>聖書<sup>よ</sup>を読んで、<sup>ただ</sup>正しいものに○を、<sup>まちが</sup>まちがっているものに×をつけてね。(ローマ 7:18-21)

- ( ) <sup>わたし</sup>私 (人間) のうちには、<sup>ぜん</sup>善<sup>す</sup>が住んでいます。
- ( ) <sup>わたし</sup>私 (人間) のうちには、<sup>つみ</sup>罪<sup>す</sup>が住んでいます。
- ( ) <sup>わたし</sup>私 (人間) はいつも<sup>ぜん</sup>善をおこなっています。
- ( ) <sup>わたし</sup>私 (人間) はいつも<sup>あく</sup>悪をおこなっています。

※「<sup>わたし</sup>私」とは、うまれつきの<sup>にんげん</sup>人間の<sup>せいしつ</sup>性質(肉)を意味します。

4. <sup>にんげん</sup>人間は「<sup>つみ</sup>罪の<sup>りっぽう</sup>律法の<sup>ほりよ</sup>とりこ(捕虜)」になっています(ローマ 7:23)。<sup>つみ</sup>罪から<sup>じゆう</sup>自由になるためには、<sup>ただ</sup>どうしたらいいでしょうか？ <sup>ただ</sup>正しいものに○をつけてね。

- ( ) <sup>よ</sup>たくさんの良いことをする。
- ( ) <sup>いま</sup>今までしてきた<sup>わる</sup>悪いことをあやまる。
- ( ) <sup>わる</sup>これからずっと悪いことをひとつもしない。
- ( ) <sup>つみ</sup>罪からの<sup>すく</sup>救いぬしにたすけてもらう。



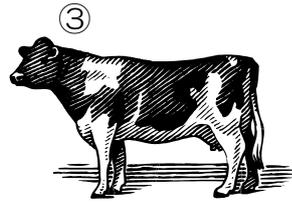
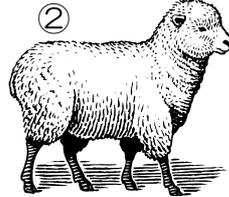
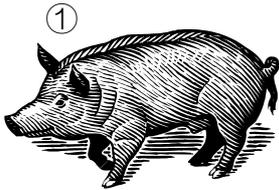
5. イエスさまは「<sup>つみ</sup>罪からの<sup>すく</sup>救いぬし」です。イエスさまは、どんなことができるかな？

(クリスマス)

# ひと て ひかり すべての人を照らす光、イエスさま

1. 【あんしょうせいく】かいて、おぼえよう。(ヨハネ 1:9)

2. 羊飼いが飼っている動物はどれでしょう？ 正しい絵を大きな○でかこんでね。



3. イエスさまはどこで生まれましたか？ 正しいものに○をつけてね。(ルカ 2:4-7)

- ( ) エルサレムにある、王さまのいる立派なお城のなか
- ( ) ベツレヘムにある、家畜のいる小屋のなか
- ( ) 町はずれにある、羊のいる囲いのなか
- ( ) 町のなかにある、おおきな病院のなか

4. 羊飼いたちはイエスさまがお生まれになったことを、どのようにして知りましたか？  
聖書を読んで、それぞれのこたえを書いてね。(ルカ 2:8-11)

いつ知ったの？

どこで知ったの？

どうやって知ったの？

( ) ( ) ( )

5. 羊飼いたちはイエスさまに会って、どのような気持ちになったかな？

下にあることばで、正しいとおもうものを○でかこんでね。

うれしい

かなしい

びっくり

いらいら



※そのほかにも、羊飼いたちが感じたとおもう気持ちがあったら下を書いてみよう。

6. 今年のクリスマスに、だれを教会にさそいたいかな？ だれにイエスさまのお話しをしたいかな？

(クリスマス)

# ぜんせかい すく 全世界の救いぬし、イエスさま

1. 【あんしょうせいく】かいて、おぼえよう。(イザヤ 49:6)

2. ヨセフとマリヤは神さまの定めをまもる、正しい人でした。ふたりは生まれた赤ちゃんのためにどうしたでしょうか？ 聖書を読んで下にかいてみよう。

赤ちゃんのなまえ (ルカ 2:21)      どこに行って、何をしましたか？ (ルカ 2:22,27)

3. シメオンは「御救いはあなたが万民の前に備えられたもの」と言いました (ルカ 2:31)。「万民」とはだれのことでしょうか？ 正しいものに○をつけてね。

- ( ) 日本人
- ( ) イスラエル人
- ( ) すべての国の人



4. 上の問題の「万民」のなかに、あなたは入っていますか？ そうだと思うほうを○でかこんでね。

入っている      ・      入っていない

5. ( ) のなかに入るものを下から選んで書いてね。  
『また、( ) 族のパヌエルの娘で女預言者の ( ) という人がいた。この人は非常に年をとっていた。処女の時代のあと七年間、夫とともに住み、その後やもめになり、八十四歳になっていた。そして ( ) を離れず、夜も昼も、断食と祈りをもって ( ) に仕えていた。』 (ルカ 2:36,37)

ルベン    アシェル    アンナ    フルダ    マリヤ    家    宮    人    神

6. きみがイエスさまを信じるようになったのは、なぜかな？ ほかの人もイエスさまを信じることができるためには、どうしたらいいかな？